

AGAROOT  
ACADEMY

弁理士試験

2021年合格カリキュラム

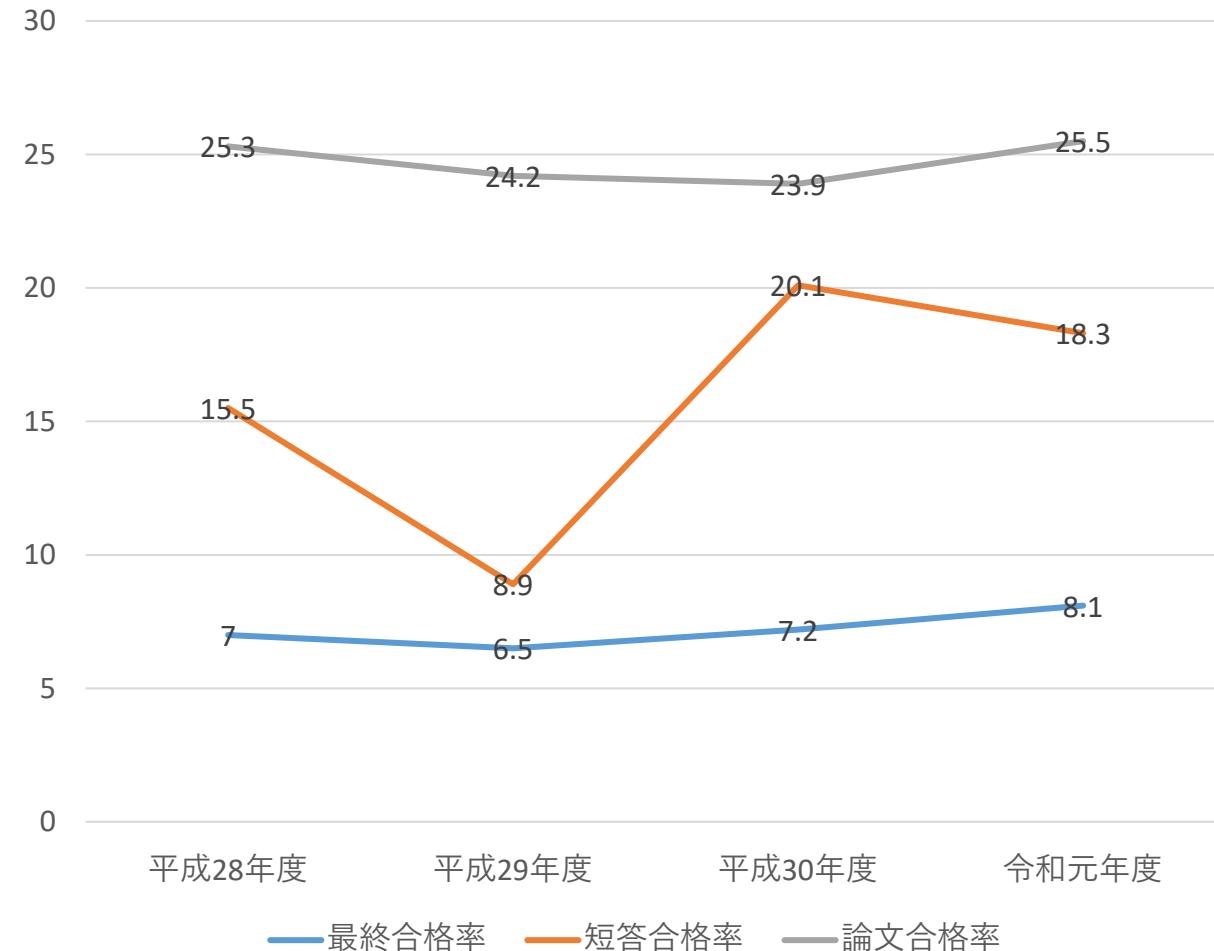
- 知的財産権に関する法律の国家試験
- 短答式試験、論文式試験、口述式試験の3段階
- 試験の実施日程

- 5月中旬頃 : 短答式試験
- 6月末～7月初頭 : 必須科目の論文式試験
- 7月中旬～下旬頃 : 選択科目の論文式試験
- 10月中旬頃 : 口述式試験

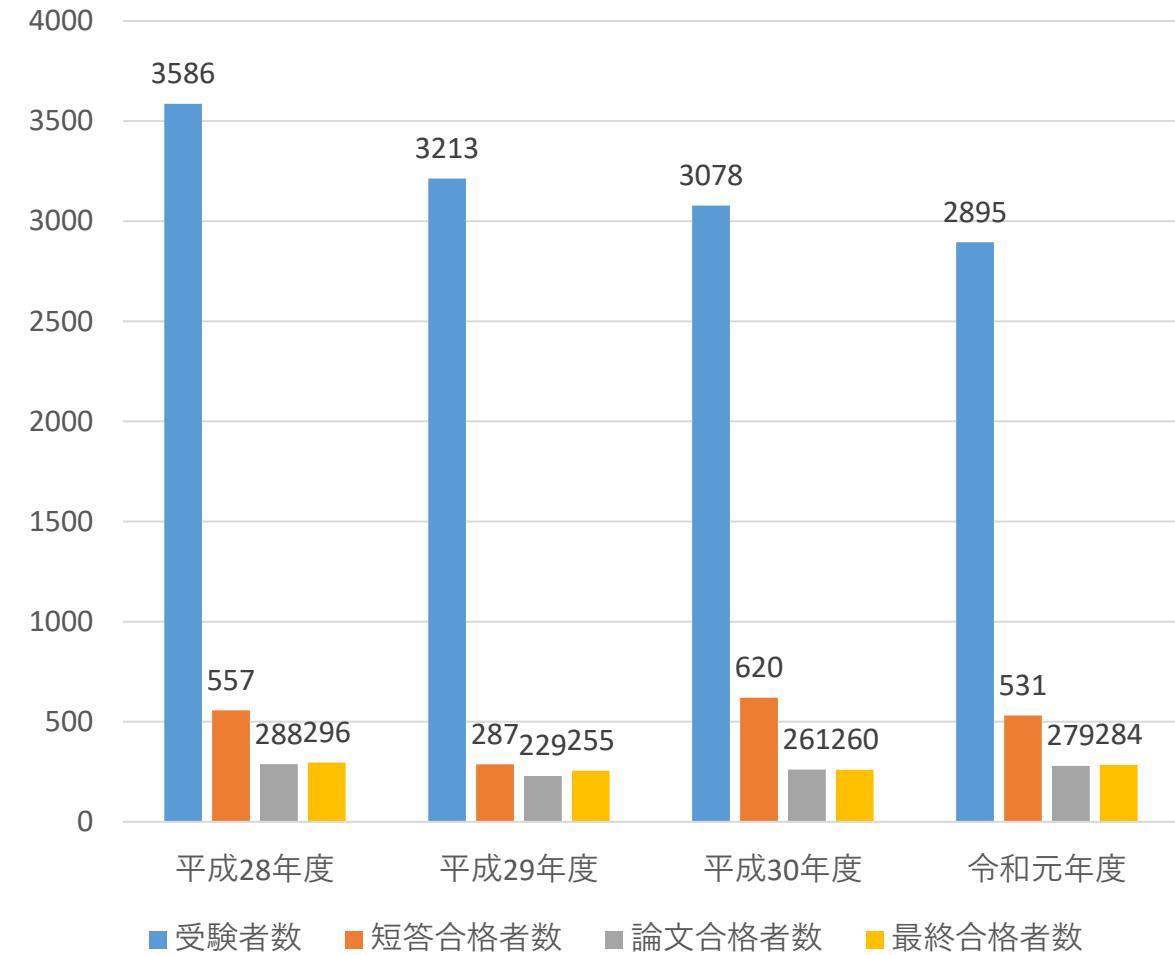
- 合格による免除制度
  - 短答試験に合格すれば、その後2年間、短答式試験が免除
  - 必須論文に合格すれば、その後2年間、必須科目の論文式試験が免除
  - 選択論文に合格すれば、その後永久に、選択科目の論文式試験が免除

# 弁理士試験の合格率等

## 合格率



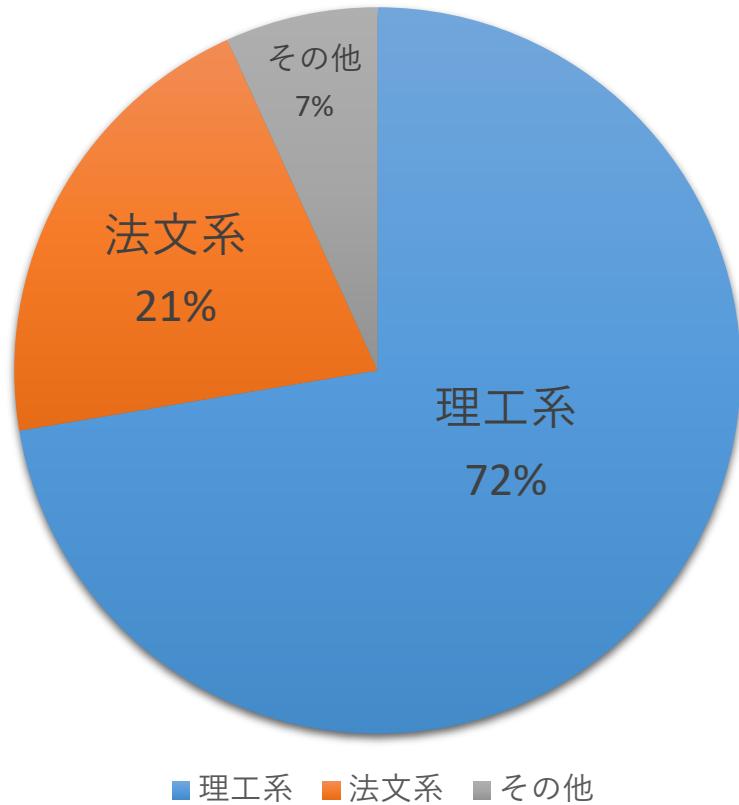
## 受験者数／合格者数



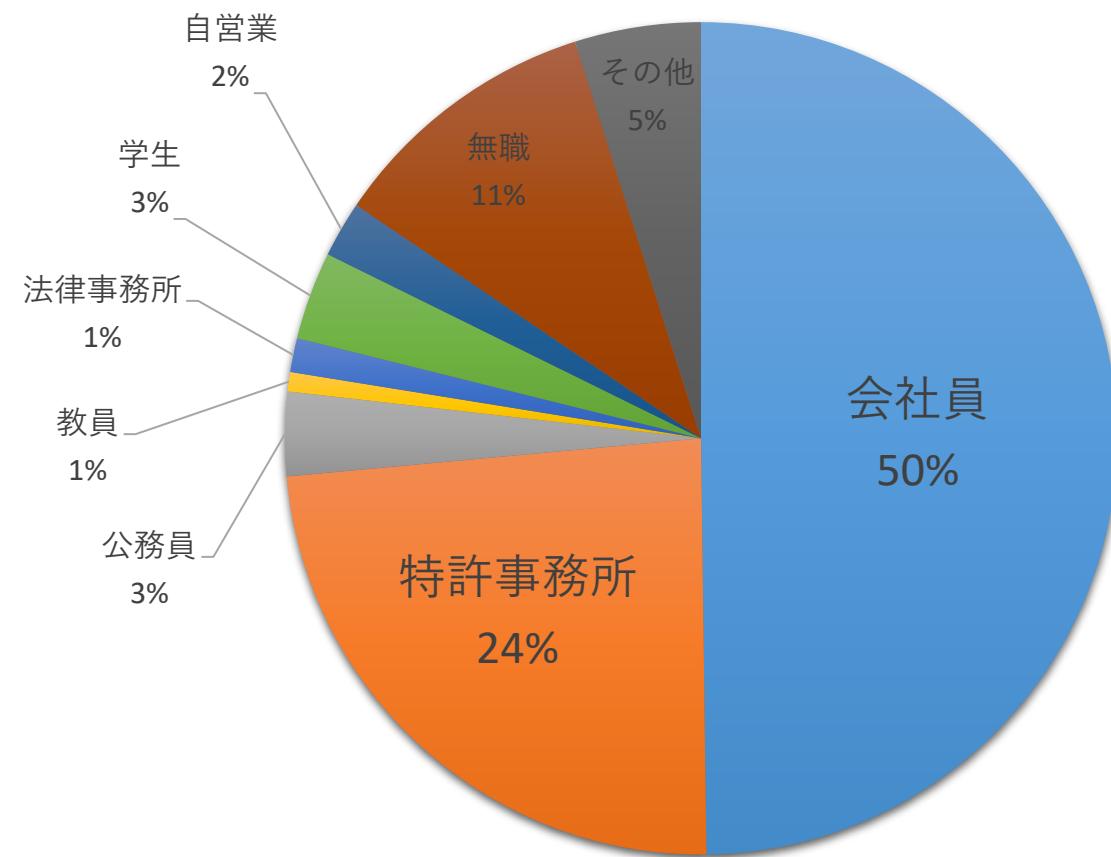
# 弁理士試験の受験者層（令和元年度）



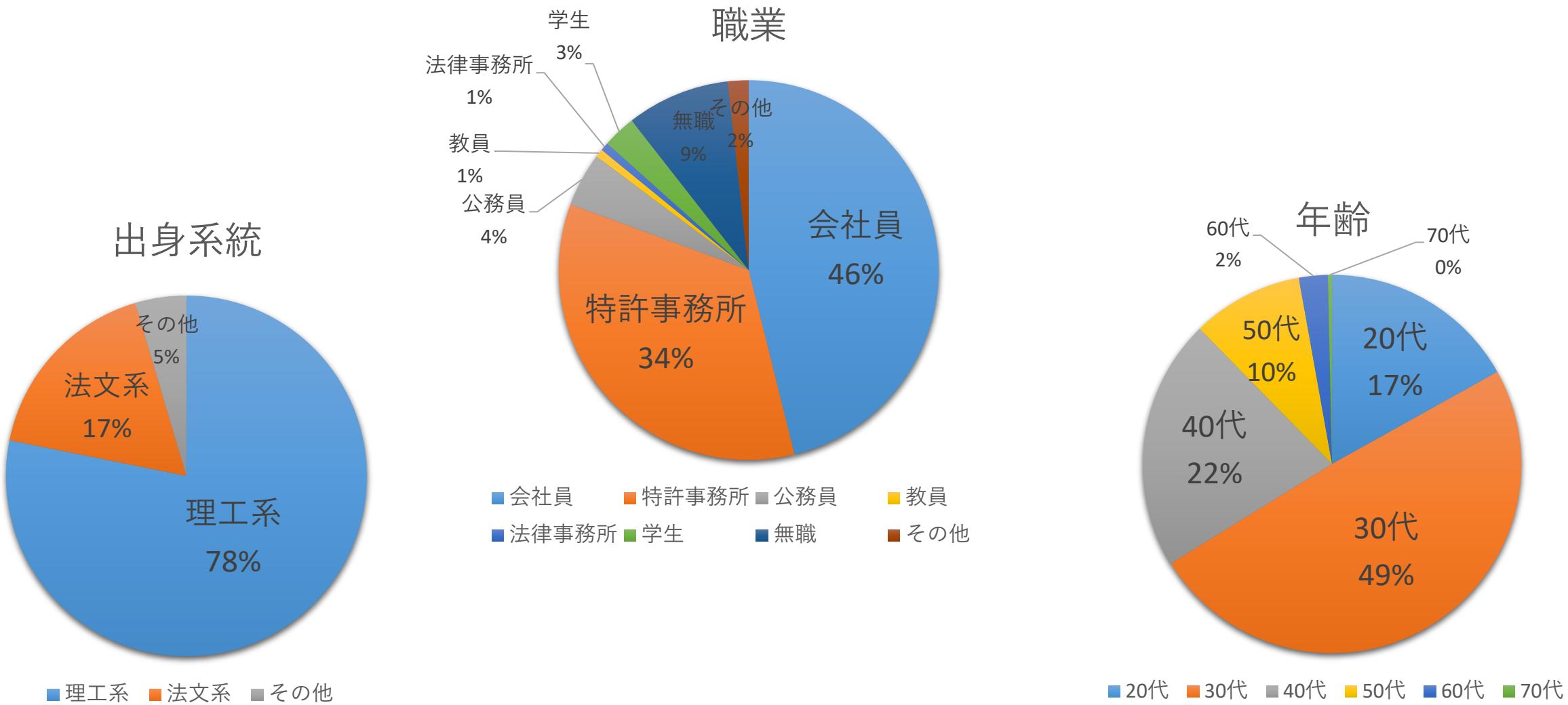
出身系統



職業



# 弁理士試験の合格者層（令和元年度）



# 弁理士試験の概要：短答式試験



## ■ 問題数・配点：全60問、60点満点

科目	問題数	配点
特許・実用新案	20問	20点
意匠	10問	10点
商標	10問	10点
条約	10問	10点
不正競争防止法・著作権法	10問（各5問）	10点（各5点）

## ■ 試験時間：3時間30分

## ■ 合格点

- ・例年、39点が合格ライン
- ・ただし、1科目でも得点率が4割未満の科目があれば、不合格

# 弁理士試験の概要：論文式試験（必須科目）



## ■試験科目：必須 4 科目

科目	配点	問題数	試験時間
特許・実用新案	200点	2問（答案用紙2枚）	120分
意匠	100点	2問（答案用紙1枚）	90分
商標	100点	2問（答案用紙1枚）	90分

## ■合格点

- ・例年、各科目の平均54点が合格ライン（偏差値方式）
- ・ただし、1科目でも47点未満の科目があると不合格

# 弁理士試験の概要：論文式試験（選択科目）



## ■以下の6科目の中から1科目選択

科目	選択問題
理工I（機械・応用力学）	材料力学、流体力学、熱力学、土質工学
理工II（数学・物理）	基礎物理学、電磁気学、回路理論
理工III(化学)	物理化学、有機化学、無機化学
理工IV(生物)	生物学一般、生物化学
理工V(情報)	情報理論、計算機工学
法律（弁理士の業務に関する法律）	民法（総則・物権・債権から出題）

■試験時間：90分

■合格点：**素点が満点の60%以上で合格**

■学位や他の資格試験に基づく免除制度あり

## ■ 試験科目

- ①特許・実用新案, ②意匠, ③商標の3科目
- 各10~15分程度

## ■ 合格ライン

- 各科目A～Cで評価
  - A（良くできている）
  - B（普通にできている）
  - C（不十分）
- C評価が2科目以上ないこと
- 近年の合格率は、90%台後半